

はじめに

豊田市矢作川研究所の活動の主な成果をとりまとめました，年報「矢作川研究 No. 18」をお届けいたします。当研究所の成果を多くの皆様に活用していただくことを願っています。ご一読いただき，忌憚の無いご意見をいただければ幸いです。

矢作川研究所は「豊富な水量の維持と良好な水質の保全」と「人々の生活にうるおいやゆとりを与える河川環境の維持と創造」を目指して平成6年に設立しました。

今年は創立20年目の節目の年になります。これまで農業・漁業団体，利水団体，研究機関，河川や森林，野生生物の愛護活動や地域再生を实践する団体，行政などと連携を深め，地域に根ざした活動を展開してきました。矢作川流域に関わる様々な課題の原因を科学的に探りその解決のための提言を行うとともに，現地調査による長年に渡る継続的なデータも蓄積してまいりました。

これからはそれらを体系化して矢作川の諸課題を総合的な研究テーマとし，そしてダムのある河川生態系の保全策を確立していく必要があります。

その他，当研究所に求められる成果は極めて多様であるとともに，できるだけ早い時期に示すことを求められています。学術的な業績となり，なおかつ流域環境の改善につながる具体的でより実効性の高い研究を進め，関係者との協議により課題を解決していく必要もあります。

今後も矢作川流域の現状と流域住民のニーズを十分に把握し，今起きている現象，問題をお伝えし，科学的なデータに基づく成果を広く流域の皆様に提供してオープンな議論の材料としていただけるよう取組んでいく所存であります。

最後に，日頃より当研究所の活動に対し，関係の皆様のご支援を賜り御礼申し上げますとともに，今後とも引き続きご指導，ご協力を賜りますよう，よろしくお願い申し上げます。

平成26年3月

豊田市矢作川研究所 所長
宮田昌和